



「情けは人のためならず」

スイッチON！ 師走ですね。バタバタ感が出てきました。年末と年始の節目はそわそわします。年末までにやり残したことがあっても、世の中が止まってしまうので年始までタスクが動かせないとかは勘弁、。

とは言うものの、新年を迎える心構えができる重要な月です。ぜひ一年の振り返りをして初詣では、神様の前で決意宣言をして新たな一年をスタートさせましょう！

8年くらい前にセミナーで聞いた内容が頭に残っていたのでアウトプットしますね。
この題名にあることわざは日本人なら誰もが知っている有名な言葉ですね。
また、間違っただけが多いことでも有名です。それではどのような意味でしょうか？

情けとは、
人のことを思いやること、配慮すること、気配りすること、応援すること、感謝すること、助けること、などなどです。

通常は、人に対してそういった情けをかけることはその人のためにならないのであまりしない方がいい。
むしろ厳しく接した方がその人のためになるのだ、という意味で多くの人が理解しているようです。

しかし、それは本来の意味とは違います。

このような情けを人にかけるということは、
他人のためではなく実はその行為自体が自分のためのものであるという
「フォワードの法則」を謳っているのです。

情けをかけるのは人のためではなく、自分のためだということです。
さらに辞書には「そのような行為が巡り巡って自分に還ってくる」ということも書かれています。

それはすなわち「ミラーの法則」です。
与えると還ってくるというものです。

いずれにせよ、情けは人のためならずの本来の意味を自分自身の生き方として持っている人、
その人は間違いなく人間関係を好転させる普遍的な叡智を持っているのです。

「人のため」から始まるのではなく、「自分のため」から始まる生き方、それが人間関係の善循環を生み出していくのだということに、いつ気づけるのかが人生の幸せの鍵です。

そして、それが人生にさらなる善循環を生み出す魔法になるのだと言っても過言ではありません。

では、情けを人に持つにはどうすればいいのかと、またここであなたは疑問を持つでしょう。

しかし、あなたはどうすればいいのかをすでに知っているはずです。

思いやること、助けること、感謝することなどです。

つまり応援です。

それを知っているのに実行できないのは、

応援が自分自身のためであると確信できていないからなのではないでしょうか。

情けを持つこと、

応援思考で生きることが本当に自分のためになるのだという確信を持つことが何よりも大切です。

それは自分を真に大切にすることなのだ。

大事なことはまずそのような意識を行動の前に自分自身の中に持つことです。

意識が形成されていないのに、行動ばかりをしようとしても逆にそこには苦しさに伴います。

「やらなくては」ではなく、まず「そう考えましょう」というのが私がお伝えしたい今回の頭の中でした。

来年も向上心を持ってどうぞ、よろしくお願い致します！！

そして、あなたの

夢を聴いてくれる仲間がいる

夢を応援してくれる仲間がいる

共に学び、共に成長できる、そして人生を豊かにしていく職場づくりを来年も目指してがんばります！

今年もワクワク様でした！

社会福祉法人 千歳会
理事長 左 敬真

